

幸田町

旅の御意見帳

豊かな自然と、古き良き歴史。

大久保彦左衛門と共に、幸田の旅に出かけてみんか。

せつしやが御意見物申す。



幸田町

旅の御意見帳

豊かな自然と、古き良き歴史。
大久保彦左衛門と共に、幸田の旅に出かけてみんか。
せつしやが御意見物申す。



幸田町

天下の御意見番
彦左の里



名古屋から車で70分
JR快速電車で40分の
距離にあるぞい

日本のほぼ、
真ん中に
あるんじやよ。

人口●42,246人(R5.8.1現在)
面積●56.72km²



JR東海道新幹線
JR東海道本線

交通のご案内

●公共交通機関 JR東海道本線相見駅・幸田駅・三ヶ根駅

●自動車をご利用の場合

大阪・名古屋方面 東名岡崎ICからR248号経由 30分

名古屋方面 R23号岡崎バイパス幸田須美IC・幸田桐山IC・幸田芦谷IC

東京方面 東名音羽・蒲郡ICから三河湾オレンジロード、R23号岡崎バイパス幸田芦谷IC 30分



発行●幸田町、幸田町観光協会 編集●環境経済部産業振興課

〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字葭池字元林1番地1 TEL●0564-62-1111 FAX●0564-63-5129

幸田町ホームページアドレス●<http://www.town.kota.aichi.jp> Eメール●sangyo@town.kota.lg.jp

幸田町観光協会ホームページアドレス●<http://www.kota-kanko.jp/>

2023.10



幸田の魅力を 大久保彦左衛門が しっかりと 御意見いたす!!

せつしやは天下の御意見番、

大久保彦左衛門でござる。

白髪に鼻眼鏡、

頑固一徹を絵に描いたような爺じゃ。

これから、せつしやのふるさと、

幸田の旅に、皆のものをお連れもうす。

自然が豊かで、見ごたえある史跡が点在。

のんびり散策できる道も整っておるぞよ。

では、幸田のまちを

楽しむための秘訣を伝授いたそう。

せつしやは こんな人物じゃ!!

大久保彦左衛門忠教（たか）（一五六〇年～一六三九年）は、三河国額田郡の人。戦国時代から江戸時代前期の武将で、二千石の領地を持つ直参旗本です。約千石が幸田町坂崎にあり、家康・秀忠・家光と、徳川家三代に仕えました。「天下の」意見番」として名高い大久保彦左衛門ですが、旗本以下の駕籠が禁止された際に「大だらい」に乗って登城したという逸話や、將軍・家光に厳しい箴言をした話は、後の世の講談や講釈の中の創作です。辛辣さに満ちた彦左衛門の著書「三河物語」は、不運な旗本や浪人、庶民に支持され、庶民のヒーローとして喝采を浴びました。明治になり、河竹黙阿弥が書いた歌舞伎芝居「大久保彦左衛門と心太助の物語」が世に出るからは「天下の御意見番」として伝説的な人物となり、今なお広く人々に愛され続けているのです。



幸田の花見頃

- 3月 梅、椿 ●本光寺
- 4月 しだれ桜 ●文化公園
桜 ●大井池
●彦左公園
●永野公園
●幸田中央公園
- 5月 つつじ ●彦左公園
●永野公園
●幸田中央公園
- 6月 あじさい ●本光寺
- 9月 コスモス ●町民会館周辺
- 11月 紅葉 ●本光寺
●大井池
●幸田中央公園



幸田中央公園(桜・つつじ)



4月は約200本の染井吉野や山桜、5月にはつつじがきれいに咲きます。また、一周約500mのグラウンド外周をジョギングやウォーキングしたりする人も多く見られます。

永野公園(桜・つつじ)



水道山山頂にある公園。自然のままの森林を回遊できるように園路が整備されています。

彦左公園(桜・つつじ)



坂崎工業団地の一角にある公園。春には緑の芝生の中に桜やつつじが一斉に花をつけ、小鳥も数多く見られます。

本光寺椿園(椿)



本光寺は「椿の郷」としても知られ、春先から4月までの間、本堂裏の丘陵地に約200種5,000本が咲き誇ります。

本光寺(あじさい)



深溝松平家の菩提所として、1523年に建立されました。四季折々に咲く花の名所としても知られ、特に近年は、「三河のあじさい寺」として名高く、初夏になると参道の両側をあじさいが埋めつくし、それは見事です。

大井池(桜・紅葉)



三河国定公園内にあって、農業用溜池としては県内最大級の人造湖で、面積は9haもあります。四季を通じて豊富な水が蓄えられているなか、湖南には多くの桜が植えられており、花見の名所にもなっています。

幸田のまちは、四季折々の花御殿
いやあ、実にあでやかじやのう〜!!

彦左の御意見板

1

幸田を代表する
花と木はこれじゃ



せつしゃのふるさと幸田町は、愛知県のと真ん中にある。南西部と東部には丘陵地帯が続き、中央部と北部は広田川の流れてそつて平野が広がつておる。温暖な気候と自然にあふれた、暮しやさい町なんじゃよ。町の花は「つばき」、町の木は「やまざくら」。どちらも幸田町の豊かな自然を物語る植物なのじゃ。本光寺ツバキ園では五千本ものツバキが咲き誇り、水晶山周辺ではやまざくらの可憐な花を愛でることができさる。これからも、自然を守り、いつまでも花に囲まれた美しい幸田町でいてほしいものじゃ。



町の花「つばき」



町の木「やまざくら」

御意見番 其の一

花めぐりの巻

花を愛でれば、心も華やぐ

幸田文化公園(しだれ桜)
濃い紅色の八重の花々が花笠のように垂れ下がる350本のしだれ桜を始め山桜など約20種500本の桜が咲き誇ります。



民具や器具、古文書を始め、古墳からの出土品などが保管展示され、郷土の人々のかつての暮らしや生産手段を知ることができます。

先人たちが

綿々と築いた文化遺産が、

我が幸田町にもたくさんあるのじゃ。

歴史に思いを馳せながら、

しばし、古代や近世にタイムスリップ。

何なら爺が生きた江戸時代に来ててもよいぞ。

皆の衆、太歓迎じゃ。

彦左の御意見板 2

本光寺と深溝松平氏

深溝(ふこうず)松平氏は、三河十八松平の一つとして、徳川家康の天下統一に大きな功績を残した深溝の殿様。先祖をたどると、徳川家康と共通の祖となる名家なのじゃ。本光寺は大永三年(一五三三年)、初代忠定が深溝松平家の祈願所・菩提所として建立した寺で、ご本尊の釈迦如来をはじめ、地藏菩薩や千手観音など、深溝松平家とはつながりの深い古寺である。2009年5月、ビッグニュースが全国を駆けめぐった。本光寺内で、七代当主・忠雄が埋葬された木棺から、小判43枚が見つかったのじゃ。副葬品として西洋グラス、銀製ポットも発見され、昔の殿様の暮らしがうかがえる出来事じゃった。



松平家忠肖像画(本光寺蔵)



本光寺島原藩主深溝松平家墓所

島原城主となった深溝松平家6代から19代までの墓所がある東廟所は、神社の本殿を型どった墓石が築かれており、全国的にも珍しい史跡です。平成20年8月末豪雨で7代目忠雄公の墓石が傾いたことから調査修復を行った際、小判、太刀、ガラス製のグラスなどの副葬品が出土されました。平成26年3月には、特殊な埋葬方法や出土した副葬品の歴史的価値などが評価され、国史跡に指定されました。

正楽寺



岡崎城を築いた西郷頼頼の墓があり、西郷氏の菩提寺でした。徳川家康の重臣・三河三奉行の一人、弘高力の異名を持つ高力清長の墓もあります。

深溝断層



昭和20年の三河地震(M6.8)の際に生じた断層です。地表のずれを示した支柱と、記念碑が建てられています。

八百富社



八百富社は久保彦左衛門の陣屋跡です。久保氏は三河譜代の中でも岩津譜代と呼ばれる由緒ある家柄で、一族をあげて徳川氏に仕えました。

青塚古墳



幸田町唯一の前方後円墳。6世紀初頭の築造とされ、身分の高い人の墓と考えられています。出土遺品は直刀や硝子製小玉などです。

御意見番 其の二

歴史探訪の巻

いにしへの幸田を偲び、歴史に思いを馳せる

御意見番 其の三

自然探勝の巻

森林浴で気分爽快



①不動ヶ池公園

園内には小川が流れており、そこから聞こえるせせらぎがとても涼しげです。また、ウッドデッキや東屋も整備されており、のんびりとした時間を過ごすのには最適です。

③不動ヶ滝



遠望峰山を源にした清流が落下する15mの滝。滝を中心とする周辺一帯は、自然の景観を生かした不動ヶ滝園地として整備されています。

④猿田彦三河神社



天照大神が天から高千穂の峰に降りる際に案内役となった猿田彦大神がまつられている神社。伊勢一宮権大神社を本宮とします。

⑥大井池



面積が9haという県内最大級の人造池で、四季を通じて豊富な水が蓄えられており、弁財天もまつられています。



【申込先】
幸田町建設部都市計画課
(0564) 62-1111

彦左の御意見板 3
三河湾国定公園
内のキャンプ場
三河湾国定公園に指定されておる山々のふもと、紺碧の海を眺望できるこの地域は、幸田町のオアシスじや。なかでも不動ヶ滝を中心とする不動ヶ滝園地は、自然の地形を生かしたキャンプ場になつておる。60人収容のテントサイトや炊事場、東屋や休憩所があり、仲間や家族でアウトドアを楽しむことができるんじやよ。夏は沢での水遊びや昆虫採集、自然体験ができる貴重な場なんじやよ。いつへん来てはどうじや。(年中無休)



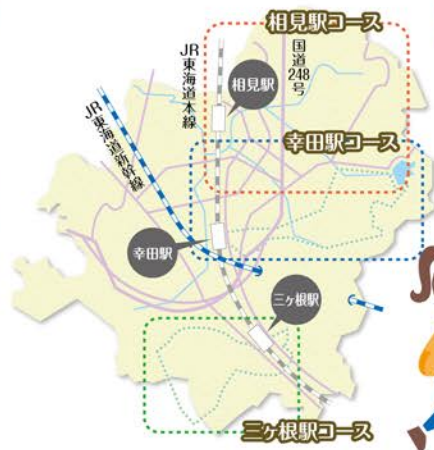
②貴嶺宮



二千年の伝統を継承する「山陰神道」の本宮。本来の古神道を引き継ぐものは、現在では出雲両国造家とこの山陰神道しかありません。

相見駅コース

相見駅をスタート・ゴール地点に、八百富社や正楽寺、浄土寺などをめぐる約11km、およそ4時間30分のコース。



人間、歩かなくなったら、おしまいじや。時には車を置き、のんびり、時間を忘れて、緑あふれる自然の中を歩いてみるのはどうじや。



幸田駅コース
幸田駅をスタート・ゴール地点に、遠望峰山を歩く、約15km、およそ6時間のコース。

三ヶ根駅コース
三ヶ根駅をスタート・ゴール地点に、三ヶ根観音やあじさいめぐりといった三ヶ根山の各スポットや深溝断層、本光寺などをめぐる約13km、およそ5時間のコース。



幸田のイベント歳時記

- 1月 ◆ こうた凧揚げまつり(菱池地内)
- 3~4月 ◆ 彦左公園夜桜照明、大井池桜まつり
幸田しだれ桜まつり(幸田文化公園)
- 6月 ◆ 本光寺紫陽花まつり
- 7月 ◆ 幸田彦左まつり(幸田駅前通り)
- 8月 ◆ こうた夏まつり(ハピネス・ヒル・幸田)
- 11月 ◆ こうた産業まつり(ハピネス・ヒル・幸田)

にぎやかに

町を練り

歩く人々の笑顔と歓声、

夏の夜を彩る

見事な打ち上げ花火。

新年の空に舞い上がる

大風は、皆の夢を運んでくれる。

さあ、せつしやも大たらいに乗って、

楽しいまつりに繰り出そうかのう。



彦左の御意見板 4

ユニークな伝統芸能、それが三河万歳なのじゃ



わしも大好きな三河万歳は、三河地方に伝わる伝統芸能。もとは正月の祝福芸であるが、今は季節を問わず慶事の際などに披露されておる。一人の太夫(たゆう)と複数の才蔵(さいぞう)の息の合った掛け合いが見ものなのじゃ。幸田の三河万歳は、西尾の流れをくむもので、安城・西尾の三河万歳とともに、国の重要無形民俗文化財に指定されておる。庶民のために演じられ、現代の漫才のルーツともいわれておるのじゃ。幸田の三河万歳は、現在「御殿万歳」御門開きの舞といった演目を保存・継承しておるのが特徴じゃ。一度、この幸田の誇る伝統芸能にふれてみてはいかがかな。

にふれてみてはいかがかな。



菱池地内で開催される、恒例の正月イベント。畳10畳を超える大風や奇抜なデザインの花など、150点以上の花が新春の抜けるような青空に舞い上がります。毎年1月に開催



6月に本光寺で開催されるまつり。参道や境内を埋めつくした約1万本のあじさいが訪れた人の心を癒やしてくれます。期間中、宝物館の一般公開(月曜休み)が行われます。



4月に幸田文化公園で開催されるまつり。公園内の見事なしだれ桜を背景に、期間中には野点やイベントが楽しめます。毎年4月上旬頃の期間開催



ハピネス・ヒル・幸田(町民会館周辺)で行われる夏まつり。盆踊りや屋台でにぎわいます。毎年8月中旬の土日開催



11月にハピネス・ヒル・幸田で開催されるまつり。幸田町の特産品直売や地元産米おにぎりの無料配付が人気です。健康福祉まつり・消防ひろばも同時開催されます。

幸田彦左まつり

郷土の英雄・大久保彦左衛門を賛えるまつり。その昔、駕籠での登城禁止令に反発した彦左は一計を案じ、大たらいに乗って登城したと伝えられています。一心太助などに扮した人々が彦左をたらいに乗せ、山車とともにまちを練り歩きます。毎年7月最終土曜日開催(雨天次日順延)

幸田しだれ桜まつり

御意見番 其の四

まつりイベントの巻

人々のエネルギー弾ける

御意見番 其の五

農工商の巻

まちの自慢、もりだくさん

野菜や果物がたわわに実り、町の北部と中央部には工業団地がひかえる。日本一の筆柿を使った銘菓は、御土産に良いじやろう。取ずかしながら、せつしやにちなんだ名品も用意されておるぞ。幸田町に来たならば、手ぶらでは帰れないじやろうて。



筆柿 幸田町は筆柿の生産量日本一を誇ります。富有柿や次郎柿より約1ヶ月早く収穫でき、一足早い秋の味覚として親しまれています。

なす 煮て、焼いて、漬けて良いといわれる幸田町のなすは、古くから町の南部地区で栽培され、1年中出荷でき、品質も向上しています。

いちご 11月～5月まで栽培・収穫できるようになったフレッシュないちご。味覚も日持ちもアップしています。

いちじく 熟すと白い果肉の中心が淡い赤色になり、さっぱりとした風味があります。



なし 幸田のなしは直販を中心とした栽培です。有袋で完熟なものを食べることができます。

みかん 早生温州と普通温州を中心に栽培されています。皮がむきやすく、種も無く食べやすいのが特徴です。

桃 温室ももと露地ももがあり、5月下旬から7月ごろまで出荷され、ひとあし早く幸田町に夏の訪れを知らせてくれます。

ぶどう 幸田のぶどうは直販から市場出荷まで行っており、町内産直施設でも見ることができます。

① 幸田憩の農園

地元産の農産物や園芸品を直売。生産者の名前がわかる安心で新鮮な品々が並び、大勢の買い物客でにぎわいます。お問合せ：(0564)62-4339

② 幸田駅前銀座

JR幸田駅前に7つのこだわりの専門店がオープン。中庭では毎月15日恒例のマルシェも。日帰り観光の拠点や地域交流の場としてもご利用ください。[HP] <http://koutaginza.jp/>

三河仏壇 ・都築仏壇店 ☎0564-62-6111

三河仏壇は国指定の伝統的工芸品に認定されています。幸田町の若手仏壇職人らが、300年以上前から伝わる九つの仏壇製作技術を使ったアート作品(写真参照)を製作し、国内外で展覧会を開いています。



彦左焼酎
彦左衛門の陣屋のあった坂崎で醸造されている、香豊かな焼酎
醸造造機 ● 幸田町大字坂崎字竹下52 ☎(0564)62-1157

彦左人形
彦左のイメージをユーモラスで可愛い人形に仕上げたキャラクター商品
鈴木工 ● 幸田町大字野場字籬迫1 ☎(0564)62-1863



■ 愛知幸田の消防カレー

◀ 幸田消防カレーの取扱店舗はこちら



彦左の御意見板 5

道の駅「筆柿の里・幸田」

道の駅「筆柿の里・幸田」は地元で取れた新鮮な特産物や近隣市町の海産物や加工品を販売しておるぞ。その他にも休憩施設(駐車場、トイレ)、道路情報提供施設も充実しているのて、一息つくのにぴったりじゃ。フリーマーケットなど各種イベントも行われているのでホームページもチェックしてはいかがかな。



- 【場 所】 幸田町大字須美字東山17-5
- 【路 線 名】 国道23号岡崎バイパス下り線 幸田桐山-幸田須美インター間)
- 【営業時間】 9:00～18:00(1/1・1/2以外年中無休)
- 【TEL】 0564-63-5171
- 【駐車台数】 普通車42台・大型車45台・身障者用2台



「筆柿の里・幸田」ホームページ ● <http://www.fudegaki-sato.com/>

- 幸田町の産業に関する主な問合せ先
- 幸田町環境経済部 産業振興課 ☎(0564)62-1111
 - 幸田町商工会 ☎(0564)62-0120
 - JAあいち三河幸田営農センター ☎(0564)63-2683

周辺観光&アクセス

- ウォーキングコース**
- 相見駅コース (約11km・4時間30分)
 - 幸田駅コース (約15km・6時間)
 - 三ヶ根駅コース (約13km・5時間)

ラグーナテンボス(蒲郡市)



TEL (0533) 58-2700

自然豊かな三河湾に位置する「ラグーナテンボス」は、エンターテイメントやグルメ&ショッピングなど、さまざまなスタイルで海と楽しむことができる複合型マリリゾートです。

竹島(蒲郡市)



国の天然記念物に指定され、陸から387mの橋で結ばれた小島。周辺には竹島水族館などの観光スポットがあります。

西浦温泉(蒲郡市)



三河湾をパノラマで眺望できる風光明媚な温泉郷。近くには万葉歌人の詠んだ歌を集めた「万葉の小径」があります。



豊かな自然があり、歴史があり、現代に息づく産業がある。

個性豊かな町、それが幸田じゃ。いっぺん来てみるんじや。

癒しの空間で おもてなしの旅館

銀河伝説煌めく天空の宿 天の丸



TEL (0564) 62-1751
眩く煌めく天の星。眼下の輝く大夜景。星の光の癒し、そして温泉と旬の味覚でおもてなしします。

ルールとマナーに基づいた エキサイティングな空間

幸田サーキットYRP桐山



TEL (0564) 62-7522
幸田町大字桐山字立岩1-100 [HP] <http://yrp-net.com>



幸戦隊 (しあわせんたい) コウタレンジャー

「幸のあるまち」幸田町に住む人々の幸せを守るために誕生したローカルヒーローです。3人の名前は、ツバキレッド、アジサイブルー、サクラピンク。町内に咲く花々の名前からつけられています。こうした夏まつり・こうた産業まつり等のイベントで大活躍しています。

三ヶ根山(西尾市)



三ヶ根山スカイラインが、西尾市から蒲郡市形原温泉まで、延長5.1kmの尾根を走り、道沿には早春にスイセンが、6月には7万株のアジサイが美しく咲き誇ります。

岡崎城(岡崎市)



徳川家康生誕の城。家康ゆかりの史跡・史料が見られ、天守閣からは城下の眺めを一望できます。

八丁味噌蔵(岡崎市)



三河国八丁村で生まれた八丁味噌。伝統製法を守る2軒の蔵元では無料で蔵見学ができる他、味噌蔵がある界限は、今も旧東海道の面影が残っています。